

PowerCinema NE for Everio かんたんガイド

お使いになる前に.....	3
エブリオとパソコンの接続	3
エブリオの取り外し.....	5
PowerCinema の起動と終了	6
簡単ガイド.....	8
メインメニュー	8
ビデオの再生	11
写真の再生	15
コピー／編集	18
バックアップ	22
リファレンス	24
メインメニュー	24
ナビゲーションコントロール.....	27
設定(メインメニュー)	29
設定(コピー／編集).....	32
設定(バックアップ)	34
設定(ディスプレイの設定).....	37
設定(音声の設定).....	40
設定(セットアップウィザード)	42
設定(PowerCinema NE for Everio について)	44
ビデオの再生	45
写真の再生	50
コピー／編集	54
バックアップ	59
バックアップフォルダについて	61
参考資料.....	63
よくある質問とその答え.....	63
ビデオの再生	64
コピー・編集.....	64
バックアップ.....	65
トラブルシューティング	66
知っておきたいこと.....	67
用語集.....	68

お使いになる前に

エブリオとパソコンの接続

初めて Everio と接続する場合には、Everio との接続を確実にするために、以下のことを実施していただくことをお願いいたします。

1 パソコンの起動

パソコンを起動して、Windows を操作できる状態にしてください。

2 エブリオの起動



Everio に AC アダプターを接続し、コンセントから電源供給してください。（バッテリーでの動作は、バッテリーの電源低下時などにデータが消えるなどの予期せぬトラブルの元になる可能性があります。）

エブリオの電源スイッチを「再生」モードに切り替えて、電源を入れてください。

3

エブリオとパソコンの接続



パソコンと Everio を USB ケーブルで接続する

エブリオ側には、USB ケーブルの小さい端子を差し込みます。

パソコン側には、USB ケーブルの長方形の端子を差し込みます。パソコン側の USB 端子の差込口の場所などについては、パソコンのマニュアルなどを参照してください。

4

エブリオのモードの切替



エブリオの画面上の「パソコンで見る」を選択します。

パソコンが、エブリオを外付けハードディスクドライブとして認識していることを確認してください。

注: 認識されるまでに数分かかる場合があります。

注: 左図はお客様の環境と異なる場合があります。

この後、PowerCinema NE for Everio の操作を行います。

エブリオの取り外し

5

パソコンからエブリオの解除

タスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックします。

「USB 大容量記憶装置デバイス(X:)」の一覧の中から、Everio に該当するものを選択します。

注: 一覧にはエブリオという名前は表記されません。エブリオが認識されているドライブレターを確認して、ドライブレターから選択をします。

6

エブリオの取り外し

「USB 大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。」と表示されたら、エブリオとパソコンから取り外して構いません。

注: 上記方法以外にパソコンの電源をオフにしてから取り外すこともできます。複数台の外付けハードディスクドライブやメモリーカードが接続されている場合は、この手順の方が安全です。

PowerCinema の起動と終了

1

パソコンから起動

PowerCinema は、エブリオを接続しないで単独で起動する場合、デスクトップアイコンをダブルクリックするかスタートメニューから起動することができます。

2

エブリオ接続時に起動

Everio を接続して起動する場合は、以下の方法があります。

1. Everio の USB ケーブルを接続したときに表示される項目から「PC で見る」を選択する。
2. [バックアップを行う場合]
 1. 上記で「バックアップする」を選択する。
 2. エブリオ本体の「ダイレクトバックアップボタン」を押す

いずれの場合もこれらの操作で PowerCinema が自動的に起動し、作業を行います。

エブリオを接続した状態で、「パソコンから起動」の手順で起動することもできます。

3

PowerCinema の終了

PowerCinema を終了するには、PC 画面右上の×のアイコンをクリックします。

必要に応じて、エブリオをパソコンから取り外してください。

4

エブリオの再接続

再度、Everio を接続し、PowerCinema を自動起動するには、上記の手順どおりに操作をしてください。

なお、Everio を切り離す操作をしていない場合は、PC のデスクトップアイコンをダブルクリックして PowerCinema を起動してください。Everio 本体からの PowerCinema の起動は、いったん切り離された状態からのみ動作いたします。

5

自動起動機能

自動起動機能は、PowerCinema の設定でオフできます。

この場合には、Everio と PC を USB ケーブルで接続しておき、Everio の画面で、「パソコンで見る」を選択し、PC のデスクトップアイコンをダブルクリックして PowerCinema を起動してください。

簡単ガイド

メインメニュー

1

設定



PowerCinema の環境設定を行います。

インストール時に、お客様の環境に合わせて自動的に設定がされますので、通常は変更する必要はありません。

2

項目の説明



現在選択されている項目の簡単な説明を表示します。

3

かんたんガイド



この「かんたんガイド」を起動します。

「かんたんガイド」を使用するには、インターネット接続環境が必要です。

4

ビデオの再生



Everio で撮影した動画(拡張子:TOD)ファイルを再生します。

5

写真の再生



Everio で撮影した静止画(拡張子:JPG)ファイルを再生、表示します。

6

コピー／編集



Everio で撮影した動画や静止画ファイルをコピーしたり、付属の動画編集アプリケーション (PowerDirector 5 NE Express) で編集することができます。

7

バックアップ



Everio の動画・静止画をバックアップコピーします。

ビデオの再生

1

メインメニュー

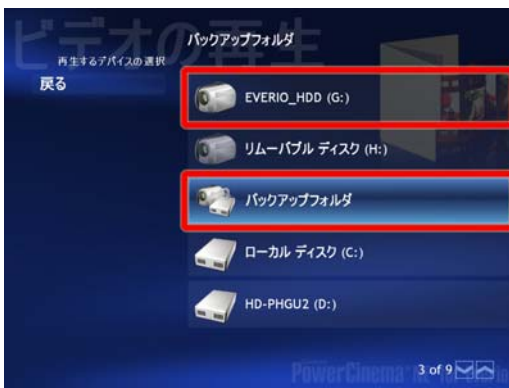


「ビデオの再生」をクリックします。

PowerCinema では、Everio およびリムーバブルデバイス、PC のハードディスクにある動画ファイル(拡張子:TOD)を再生します。メインメニュー画面から、「ビデオの再生」をクリックします。

2

デバイスの選択画面



再生したい動画ファイルが存在しているドライブやフォルダをクリックします。

注: Everio で撮った動画を見る場合は Everio と PC を USB ケーブルであらかじめ接続しておく必要があります。

接続方法については、「お使いになる前に」の「Everio とパソコンの接続」をご覧ください。

3

サムネール一覧画面



再生したい動画のサムネールをクリックすると次の「動画再生中画面」のように動画の再生が始まります。

4

動画再生画面



動画を見ている時には、画面の左下方にマウスカーソルを移動するとコントロールボックスが現れます。（これらのボタン操作の説明は、「リファレンス」の「ビデオの再生」にある「動画ファイルの再生画面」を参照）左端の停止（四角）ボタンを押すと、再生が終了し、サムネール一覧画面に戻ります。

5

サムネール並び替え操作画面



サムネールの並び替えをする場合は「並び換え」ボタンをクリックします。

並び換えはファイルの名称順かファイル作成日順が選べます。

6

フィルター操作画面(1)



「フィルター」ボタンはサムネールを選択表示させたいときに使います。

- 「フィルター」ボタンを押し、「全て」「イベント」「日付」のいずれかを選択します。
- 「全て」は全て表示します。
- 「イベント」はイベントの種別ごとで表示します。
- 「日付」は日付単位で表示します。

「イベント」フィルターを使うには、予めエブリオでイベントを設定して記録しておく必要があります。

*** Everio のイベント設定方法については Everio 本体の説明書を参照ください。**

7

フィルター操作画面(2)



「イベント」を選択すると存在しているイベント項目の一覧が表示されます。

8

フィルター操作画面(3)



イベントの任意の「項目名」を選択すると、「全て」、「1」、「2」、「3」のボタンが表示されます。「全て」は選択した項目の番号にかかわらず全てを表示します。「1」「2」「3」はイベントの種別ごとに付加されている番号別で表示します。(注: 存在していないイベントの番号は表示されません)

*** Everio のイベントは各イベント毎に1から3までの番号が付けられています。**

9

サムネール表示数切り替え画面



「表示」はサムネールの画面内の表示数を設定します。

写真の再生

1

メインメニュー



「写真の再生」をクリックします。

PowerCinema では、Everio およびリムーバブルデバイス、PC のハードディスクにある静止画ファイル(拡張子:JPG (JPEG 形式)のみ)を参照し、1枚ずつ、またはスライドショーとして表示します。

2

デバイスの選択画面



表示したいファイルが存在しているドライブやフォルダをクリックします。

3

フォルダ選択画面



フォルダをクリックするとその中にある静止画がサムネールで現れます。

4

サムネール選択画面



見たい静止画のサムネールをクリックすると静止画が表示されます。

5

サムネール並び替え操作画面



並び換えボタンをクリックすると名前順、日付順でサムネールを並び換えることができます。

6

静止画表示画面(1)



再生ボタンは静止画のスライドショー再生ができます。

7

静止画表示画面(2)



停止ボタンは静止画表示もしくは、スライドショー再生を終了してサムネイル画面に戻ります。

コピー／編集

1

メインメニュー

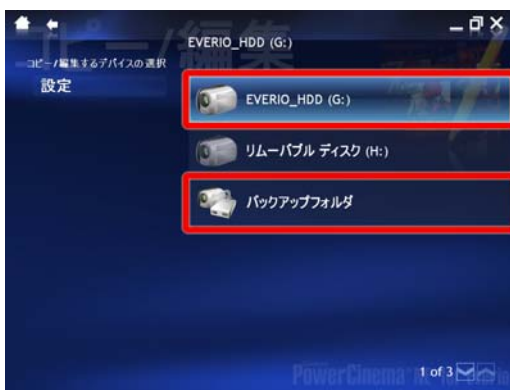


PowerCinema は、Everio およびリムーバブルデバイス、PowerCinema で PC にバックアップ済みの動画または静止画を PC 内の別のフォルダにコピーできます。

注:コピー先のフォルダは、あらかじめ指定された場所になっていますが、設定メニューで変更可能です。(「リファレンス」の「設定(コピー／編集)」にある「コピー先フォルダ設定画面」参照)

2

デバイスの選択画面



コピー／編集するデバイスの選択でコピーしたい動画や静止画の存在しているドライブ、またはフォルダを選択します。

3

ファイルの選択画面



コピーしたいファイルのチェックボックス(四角の部分)をクリックして、チェックマークを入れます。解除するときは、もう一度、クリックします。

「コピー/編集」ボタンを押すと選んだファイルのみのサムネール表示に変わります。

4

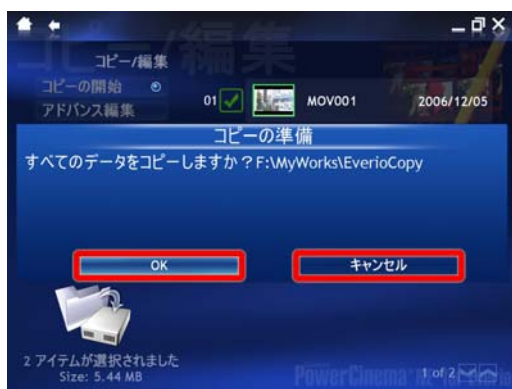
ファイル選択の確認画面



選んだファイルを確認し正しければコピーの開始ボタンをクリックします。選んだファイルに不要なものがある場合は、チェックマークをはずせば、コピー対象からはずれます。さらに追加したい場合は、「戻る」(矢印)ボタンで前に戻り、ファイルを選択してください。

5

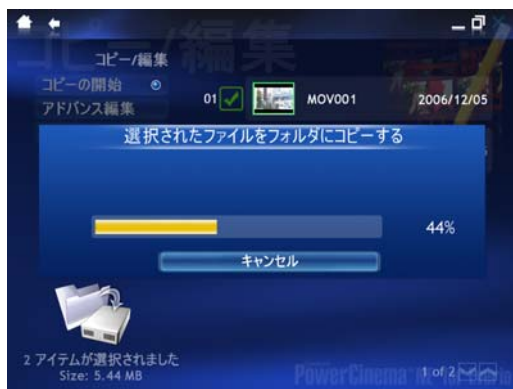
コピーの開始



コピーの開始を押すと「コピーの準備」のダイアログが表示されます。コピー先を確認して正しければ OK をクリックします。コピー先を変更する場合など、コピーをやめる場合はキャンセルをクリックします。

6

コピーの実行中画面



コピーが始まるとプログレスバーが表示されます。コピーを中止する場合はキャンセルをクリックします。

注:コピー実行中のキャンセル処理には少し時間がかかる場合があります。

7

アドバンス編集について(ファイル選択の確認画面)



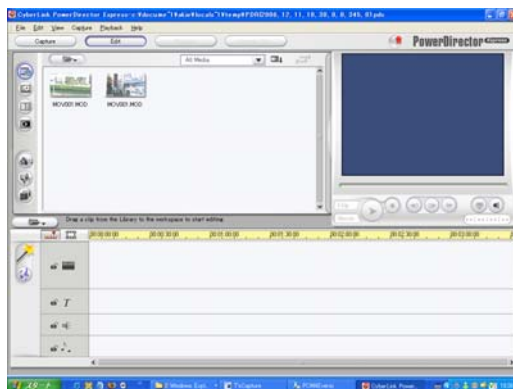
ファイル選択の確認画面において、「アドバンス編集」ボタンをクリックすると PowerDirector Express が起動します。

PowerDirector Express を使うと、音楽、ナレーション、タイトル、トランジション(場面転換)効果を付加した動画ファイルを作成できます。

注:PowerDirector Express をお使いになる場合は、Everio からバックアップフォルダにコピーをしてから、そのバックアップフォルダの素材を使って、編集することをお勧めします。

8

Power Director Express の起動画面



PowerDirector Express の起動画面の例です。PowerDirector Express の使い方は、PC にインストールされている PDF ファイルをよくお読みください。

9

ディスク作成について(ファイル選択の確認画面)



ファイル選択の確認画面において、「ディスク作成」ボタンをクリックすると、ディスク作成ソフトの PowerProducer 3 が起動します。

10

PowerProducer 3 の起動画面



PowerProducer 3 の起動画面の例です。
PowerProducer 3 の使い方は、PC にインストールされている PDF ファイルをよくお読みください。

バックアップ

Everio のハードディスクから PC のハードディスクに動画・静止画をバックアップ(コピー)します。

前回バックアップ操作した以降に記録撮影した新しい動画・静止画ファイルだけをコピーします。バックアップ操作後も Everio のハードディスク内にはオリジナルの動画・静止画ファイルは残っています。この操作を始める前には、Everio と PC を USB ケーブルで接続してください。この操作を始める前には、PC のバックアップフォルダの設定をおこなってください。前回と同じ場所にバックアップする場合は設定操作は不要ですが、保存先の容量等を確認することをお勧めします。

1 メインメニュー



メインメニューの「バックアップ」をクリックします。

2 ドライブの選択画面

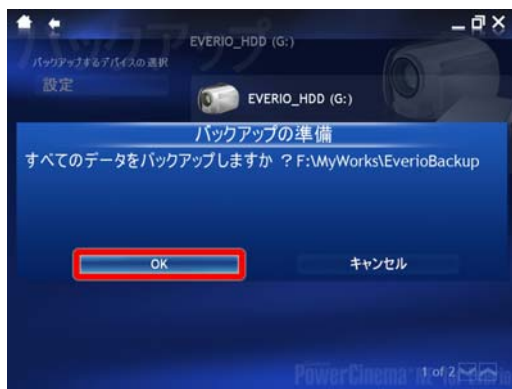


バックアップする Everio のハードディスク「EVERIO_HDD」をクリックします。

ドライブが表示されます。(HDD の容量によっては時間がかかることがあります)

3

バックアップ開始操作画面



「バックアップ準備」のダイアログ確認が表示されます。保存先フォルダを確認して「OK」ボタンをクリックしてください。

保存先を変えたい場合は、いったん「キャンセル」ボタンを押し、「設定」ボタンでバックアップ先を変更してください。（「リファレンス」の「設定（バックアップ）」にある「バックアップフォルダ」参照）

4

バックアップ実行中画面



Everio から PC へのバックアップが開始されます。

バックアップしているファイル数、およびプログレスバー、%表示で進行を表示します。

バックアップ終了後は、画面左上の「ホーム」ボタンをクリックしてメインメニューに戻ります。

バックアップされた動画、静止画を再生、表示するには、それぞれ「ビデオの再生」、「写真の再生」メニューをクリックし、バックアップフォルダを選ぶとバックアップしたファイルを見ることができます。

リファレンス

メインメニュー

1 設定



PowerCinema の環境設定を行います。インストール時に、お客様の環境に合わせて最適な設定がされますので、通常は変更する必要はありません。

2 項目の説明



マウ斯卡ーソルを置いている項目の簡単な説明を表示します。

3

簡単ガイド



「かんたんガイド」を使用するには、インターネット接続環境が必要です。

4

ビデオの再生



Everio で撮影した動画(拡張子:TOD)ファイルを再生します。

5

写真の再生



Everio で撮影した静止画(拡張子:JPG)ファイルを再生表示します。

6

コピー／編集



Everio で撮影した動画ファイルや静止画ファイルをコピーしたり、付属の動画編集アプリケーションソフト (PowerDirector 5 Express NE) で編集したり、ディスク作成ソフト (PowerProducer 3 NE) で BD や DVD ディスクを作成することができます。

7

バックアップ



Everio 内の動画・静止画ファイルをPCへバックアップします。

ナビゲーションコントロール

画面上部にあるナビゲーションバーには、PowerCinema の操作をおこなうためのいくつかのボタンがあります。

8 ホーム



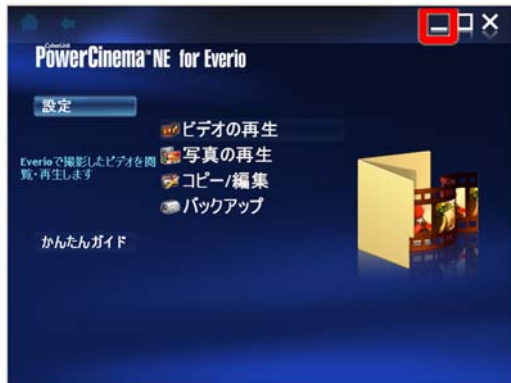
このアイコンをクリックすると、メインメニュー画面に戻ることができます。

9 戻る



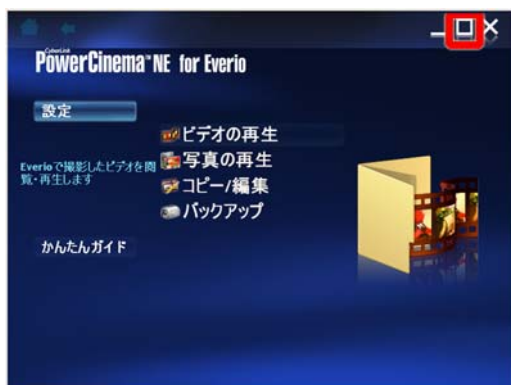
このアイコンをクリックすると、前の画面に戻ります

10 最小化



PowerCinema のウィンドウを最小化します。

11 最大化



PowerCinema のウィンドウを最大化(フルスクリーン表示)します。

12 閉じる



PowerCinema を終了します

設定(メインメニュー)

1

メインメニュー



「設定」モードの選択をします。メインメニュー画面にある[設定]を選択すると、PowerCinema を設定するためのページが表示されます。

※インストール時に、お客様の環境に合わせて最適な設定がされますので、通常は操作変更する必要はありません。

2

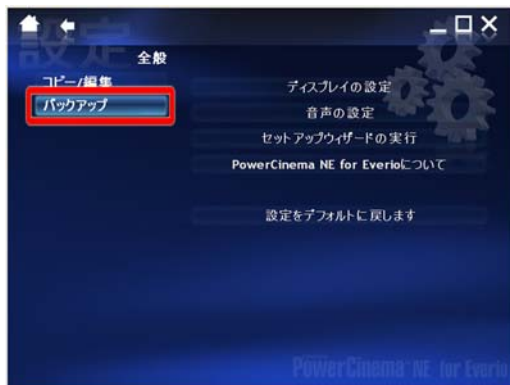
「設定」モード画面 - コピー／編集



記録データをコピーするコピー先フォルダを設定します。

3

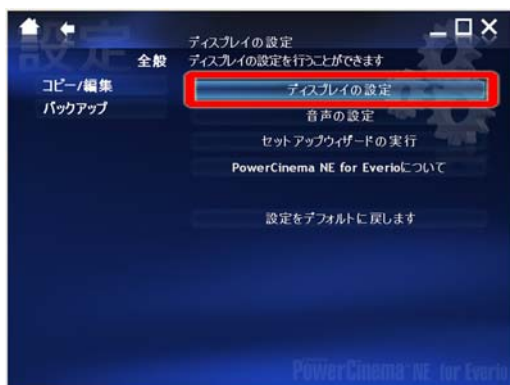
「設定」モード画面 - バックアップ



Everioの記録データをバックアップするための設定をします。

4

「設定」モード画面 - ディスプレイの設定



[4.3]、[ワイドスクリーン]ディスプレイの設定をします。

5

「設定」モード画面 - 音声の設定



PC のオーディオ機能の設定をします。

6

「設定」モード画面 - セットアップウィザードの設定



ディスプレイ、音声、製品登録を行います。

7

「設定」モード画面 - PowerCinema NE for Everio について



PowerCinema のバージョン情報を表示します。

8

「設定」モード画面 - 設定をデフォルトに戻します



全ての設定を、PowerCinema インストール時の設定に戻します。

設定(コピー／編集)

1

設定メニュー画面



「コピー／編集」ボタンをクリックして下さい。

2

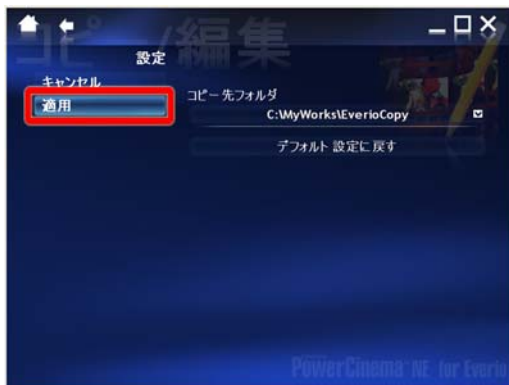
コピー先フォルダ設定画面 - [コピー先フォルダ]の選択



コピー先のフォルダの項目ををクリックして、ドライブ、フォルダを指定します。

3

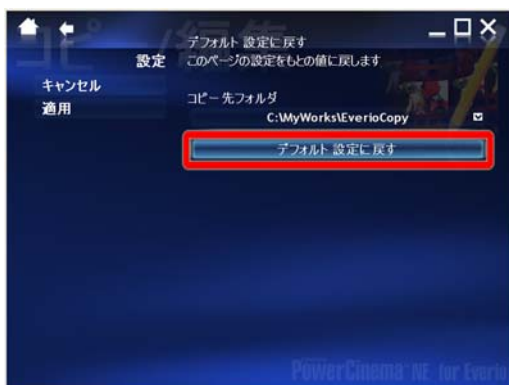
コピー先フォルダ設定画面 - [適用]ボタンの押下



[適用]ボタンを押します。

4

コピー先フォルダ設定画面 - [デフォルト設定に戻す]

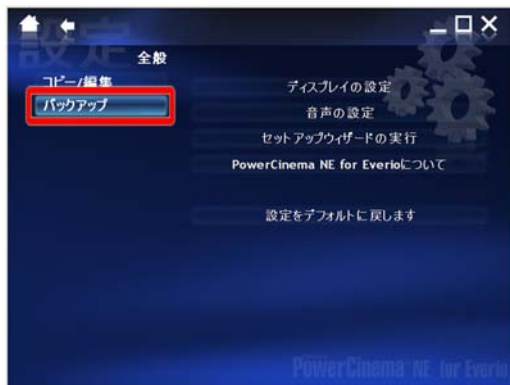


デフォルト設定に戻すには、[デフォルト設定に戻す]ボタンを押します。「コピー／編集」設定をデフォルト（インストール時）に戻します。デフォルト設定は「MyWorks フォルダの中の EverioCopy フォルダ」です。

設定(バックアップ)

1

設定メニュー画面



Everio のメディア (EVERIO_HDD/EVERIO_SD) をバックアップ(コピー)するための設定をします。「バックアップ」ボタンをクリックして下さい。

2

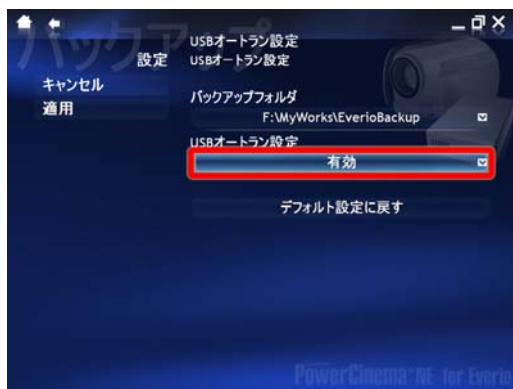
バックアップフォルダ



バックアップ先ドライブ、フォルダを指定します。インストール時に、お客様の環境に合わせて最適な設定がされますので、通常は変更する必要はありません。デフォルトでは、最も空き容量の大きなドライブの中に自動的に作成される「MyWorks」フォルダの「EverioBackUp」に設定されています。ドライブ、フォルダを変更する場合は項目の部分をクリックしてフォルダを選択し、最後に「適用」のボタンを押します。「リファレンス」の「コピー／編集」を参考に操作して下さい。

3

USB オートラン



Everio のボタン・メニュー操作で、PowerCinema の自動起動を設定します。

有効：
自動起動を有効にします。

無効：
自動起動を無効にします。

デフォルトでは「有効」に設定されています。

注:ごくまれに、この設定が有効になっていない場合があります。その場合には、この設定を再度選択し、「適用」ボタンを押すことで有効になります。

「有効」の場合は、Everio 本体側の操作で、次のことができます。

<メニュー操作>

パソコンで見る:

PowerCinema が起動し、メインメニューが表示されます。

バックアップする:

PowerCinema がバックアップをおこなう「バックアップ」モードで起動します。

<ボタン操作>

ダイレクトバックアップ:

PowerCinema の「ダイレクトバックアップ」機能が起動し、自動でバックアップを開始します。

※詳細は、Everio の取扱説明書をご覧ください。

4

デフォルト設定に戻す



「バックアップ」設定をデフォルト設定に戻します。

5

[キャンセル]／[適用]

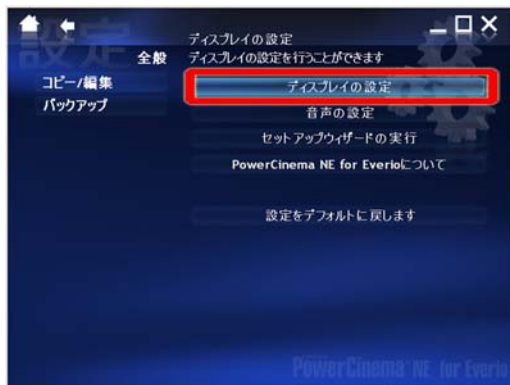


[適用]ボタンをクリックすると設定内容を確定します。設定内容を確定せず、設定前の状態を維持する場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

設定(ディスプレイの設定)

1

設定メニュー画面

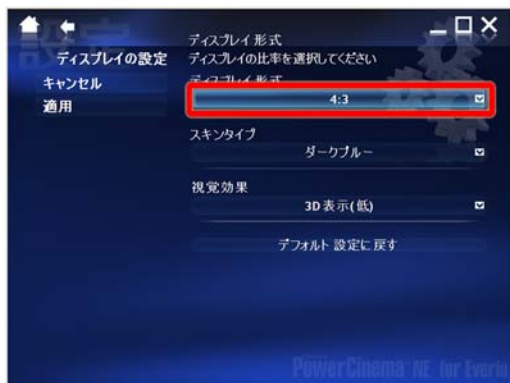


「ディスプレイの設定」をクリックします。

[4:3]、[16:9]のディスプレイの設定を行います。「ディスプレイの設定」ボタンをクリックして下さい。

2

ディスプレイ形式



[4:3]、[16:9]から選択して設定します。

4:3

「4:3」ディスプレイを使用する場合に設定します。

16:9

「16:9(ワイドスクリーン)」ディスプレイを使用する場合に設定します。

デフォルトでは、「現在使用中のディスプレイ」が設定されています。

注: 4:3、16:9 いずれでもない場合には、より近い方が選択されます。

3 スキンタイプ



PowerCinema 全体の色を、下記の 5 種類から変更することができます。

ダークブルー、ブルー、紫、緑、赤

デフォルトでは、「ダークブルー」に設定されています。

4 デフォルト設定に戻す



「ディスプレイの設定」をデフォルトに戻します。

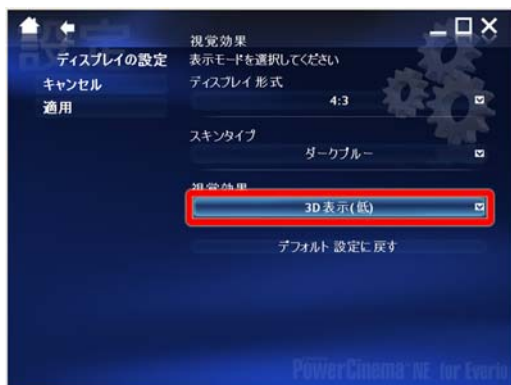
5 [キャンセル]／[適用]



[適用]ボタンをマウスで左クリックして設定を確定します。設定を中止する場合は[キャンセル]ボタンを左クリックします。

6

視覚効果



PowerCinema の画面表示方法変更することが出来ます。

2D 表示:

「視覚効果」を無効にします。

3D 表示(低):

「視覚効果」を有効にします。

3D 表示(高):

「視覚効果」を有効にし、より高度な表示をおこないます。

自動:

自動でお使いの PC にあった表示モードに設定をします。通常は「3D 表示(高)」の設定になります。

デフォルトでは、「3D 表示(低)」が設定されています。

注:この設定項目は、VRAM が 128MB 以上搭載されている場合にのみ表示されます。

注:「3D 表示(高)」および、「自動」が設定されている場合において、一部の機種では表示等が正常にされない場合があります。このような場合には、「3D 表示(低)」もしくは、「2D 表示」をお使いください。

設定(音声の設定)

1

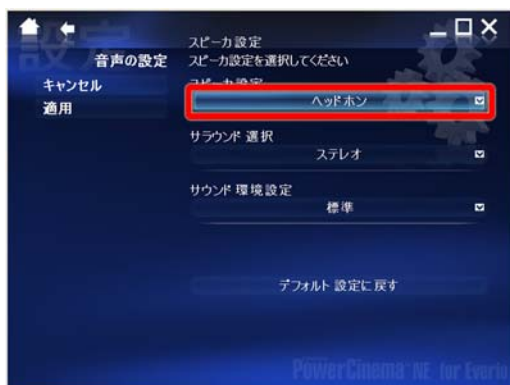
設定メニュー画面



PC のオーディオ機能の設定を行います。「音声の設定」ボタンをクリックして下さい。

2

スピーカ設定



お使いのスピーカ、ヘッドホン、デジタルオーディオ出力[SPDIF]用の設定します。

ヘッドホン:

ヘッドホンを使用する場合

SPDIF:

デジタルオーディオ出力を使用する場合

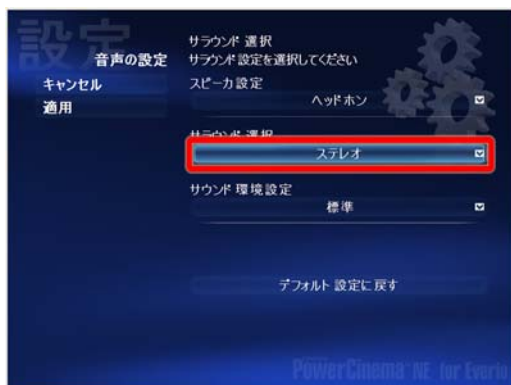
2 スピーカ:

ステレオスピーカを使用する場合

デフォルトでは「ヘッドホン」が設定されています。

3

サラウンドの選択



オーディオ効果(サラウンド)を指定します。

ステレオ:

ステレオ音声で出力します。

Dolby Surround:

Dolby Surround 方式で出力します。

デフォルトでは「ステレオ」が設定されています。

4

サウンド環境設定



以下の3つの選択項目があります。お好みでお選びください。

- 標準
- 周辺が静かな場合
- 周辺が騒がしい場合

デフォルトでは「標準」に設定されています。

5

デフォルト設定に戻す



「音声の設定」をデフォルトに戻します。

設定(セットアップウィザード)

1

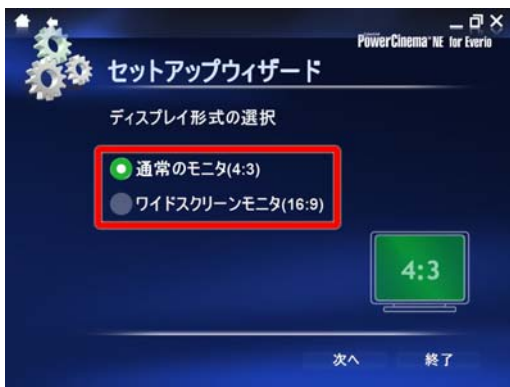
設定メニュー画面



「セットアップウィザードの実行」ボタンをクリックして下さい。

2

ディスプレイ形式の選択

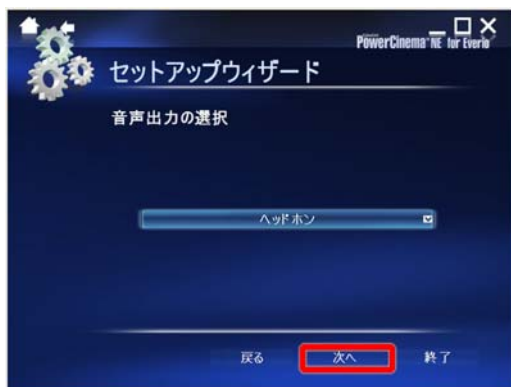


ディスプレイの形式を選択します。「通常のモニタ(4:3)」または「ワイドスクリーンモニタ(16:9)」から選びます。

ディスプレイの形式の選択が完了したら「次へ」ボタンをクリックして下さい。

3

音声出力の選択



項目をクリックして音声出力を選択します。

ヘッドホン:

ヘッドホンを使用する場合

SPDIF:

デジタルオーディオ出力を使用する場合

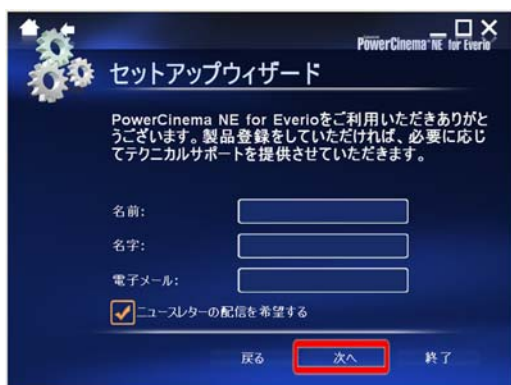
2 スピーカ:

ステレオスピーカを使用する場合

音声出力の選択が完了したら「次へ」ボタンをクリックして下さい。

4

製品登録



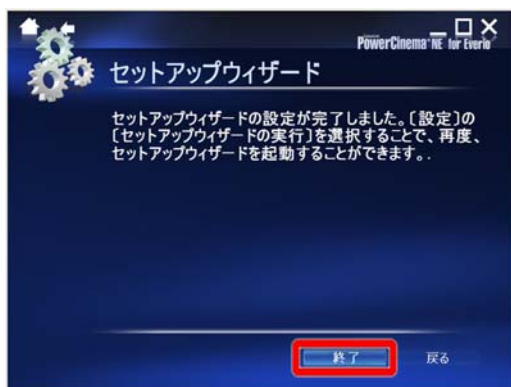
名前・名字・電子メールを入力します。

「ニュースレターの配信を希望する」場合には、チェックボックスにチェックマークを入れます。

必要事項の入力が完了したら、「次へ」ボタンをクリックして下さい。

5

設定の完了



これで、すべての設定が完了しました。「終了」ボタンをクリックして下さい。

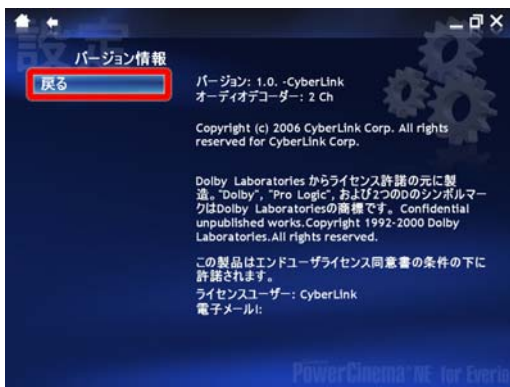
設定(PowerCinema NE for Everio について)

1 PowerCinema NE for Everio について



PowerCinema NE for Everio のバージョン情報を表示します。「PowerCinema NE for Everio について」ボタンをクリックして下さい。

2 「バージョン情報」画面

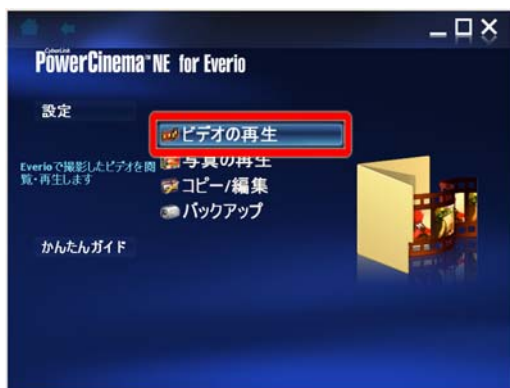


この画面を終了するには、「戻る」ボタンをクリックして下さい。

ビデオの再生

1

メインメニュー



PowerCinema では、Everio およびリムーバブルデバイス、PC のハードディスクにある動画ファイル(拡張子:TOD)を再生します。メインメニュー画面で、[ビデオの再生]をクリックします。

2

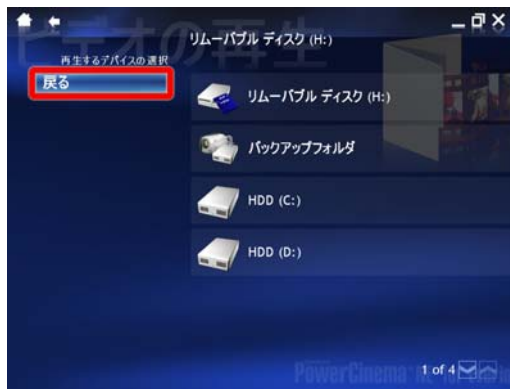
デバイス選択ボタン



デバイスおよびバックアップフォルダの一覧が表示されます。

3

[戻る]ボタン



メインメニューに戻ります。

4

[スクロール]ボタン



画面内にすべてのデバイスが表示されていない場合に、このボタンを押すと画面がスクロールします。

5

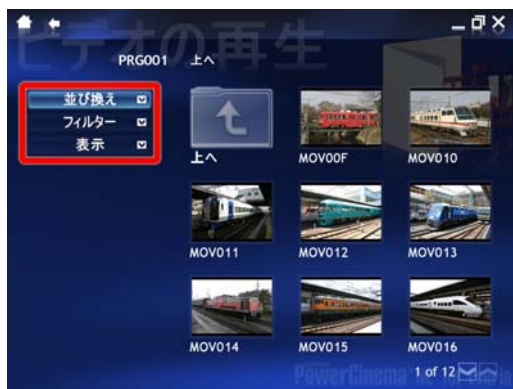
動画サムネイル／フォルダインデックス



フォルダ／動画ファイルの一覧、および再生したい動画ファイルを選択する画面です。サムネイルをクリックすると動画を再生表示します。

6

機能ボタン



[並び換え]

「並び換え」は動画ファイルのサムネイル表示の順番を名前順、または日付順に並び換えます。

[フィルター]

「フィルター」は動画ファイルのサムネイル表示をイベントもしくは日付の条件で絞り込みます。

「フィルター」から「イベント」選択時の各イベント名は、Everio で録画時に選択されたイベント情報を元に表示されます。

注:両方のフィルタを同時に使うことはできません。

注: イベント名を使用した録画方法に関しては Everio の取り扱い説明書をご参照下さい。

フィルターの表示例

[フィルター]	[全て]				
	[イベント]	→	旅行		全て
			運動会	→	1
			結婚式		2
			:		3
			:		
	[日付]	→	西暦	→	月

[表示]

「表示」はサムネイルアイコン表示数を変更します。

注:画面解像度設定により選択項目数が変わります。

7 [スクロール]ボタン



画面内に表示されていないフォルダ／動画ファイルをスクロールして表示します。

8

動画ファイルの再生画面



画面左下に表示されるコントロールボタンで操作できます。

	停止	ビデオ再生を止めます。この操作をするとビデオのサムネイル表示画面に戻ります。
	再生	ビデオ再生を再開します。
	一時停止	ビデオ再生を一時停止します。
	戻る	一つ前のビデオに戻ります。
	巻き戻し	再生中のビデオを巻き戻します。
	早送り	再生中のビデオを早送りします。
	次へ	次のビデオに進みます。
	音量を下げる	再生中のビデオの音量を下げます。
	スピーカオン/オフ	再生中のビデオの音声をミュートします。
	音量を上げる	再生中のビデオの音量を上げます。
	スナップショット	現在再生中の動画画像フレームからスナップショット(JPEG 形式)を「マイドキュメント」フォルダ内の「マイピクチャ」フォルダ内の「ビデオスナップショット」フォルダへ保存することができます。
	常に手前に表示	動画再生画像のウィンドウを他のプログラムよりも常に手前に表示します。元に戻す場合は動画再生中のウィンドウ内をダブルクリックします。

写真の再生

1

メインメニュー



写真の再生表示を行います。PowerCinema では、Everio およびリムーバブルデバイス、PC のハードディスクにある静止画ファイル(JPEG 形式のみ)を1枚表示またはスライドショーとして表示します。

2

デバイス選択ボタン



デバイスおよびバックアップフォルダの一覧が表示されます。

3

[戻る]ボタン



メインメニューに戻ります。

4

[スクロール]ボタン



画面内にすべてのデバイスが表示されていない場合に、このボタンを押すと画面がスクロールします。

5

静止画サムネール／フォルダインデックス



フォルダ／静止画ファイルの一覧、および再生したい静止画ファイルを選択する画面です。サムネールをクリックすると静止画を再生表示します。

6

機能ボタン



[並び換え]

「並び換え」は静止画ファイルのサムネール表示の順番を名前順、または日付順に並び換えます。

[フィルター]

「フィルター」は静止画ファイルのサムネール表示を日付の条件で絞り込みます。

注: 存在している項目のみが表示されます。

[フィルター]		[全て]			
	→	[日付]	→	西暦	→ 月

[表示]

「表示」はサムネールアイコン表示数を変更します。

注: 画面解像度設定により選択項目数が変わります。

7

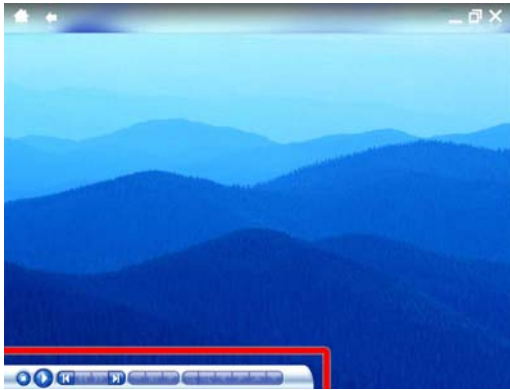
[スクロール]ボタン



画面内に表示されていないフォルダ／静止画ファイルをスクロールして表示します。

8

写真の再生画面



	停止	静止画の表示再生を終了してサムネール画面に戻ります。
	再生/一時停止	静止画がスライドショーされます。最終の静止画の表示の後は、再び最初から表示します。スライドショー再生を一時停止します。
	戻る	1つ前の静止画を表示します。
	巻き戻し	静止画のスライドショー再生中に早戻しができます。ボタンを押すごとに再生速度を変更できます。
	早送り	静止画のスライドショー再生中に早送りができます。ボタンを押すごとに再生速度を変更できます。
	次へ	次の静止画を表示します。

コピー／編集

1

メインメニュー



動画・静止画のコピー／編集を行います。
PowerCinema は、Everio や PC に接続されているリムーバブルデバイスから、動画および静止画ファイルを PC のハードディスクへコピーが簡単にできます。

メインメニューから[コピー/編集]をクリックします。

2

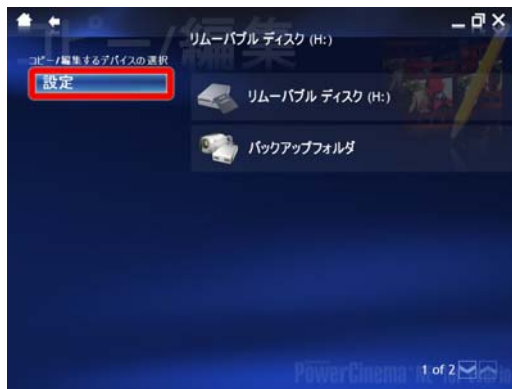
デバイス選択ボタン



デバイスおよびバックアップフォルダの一覧が表示されます。

3

[設定]ボタン



コピー先のフォルダの設定が行えます。(詳しくは、「設定(コピー／編集)」をご覧ください)

4

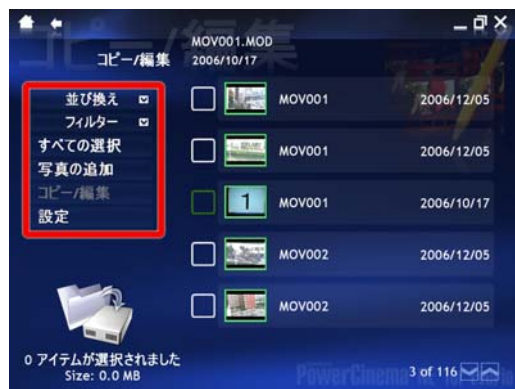
[スクロール]ボタン



画面内にすべてのデバイスが表示されていない場合に、このボタンを押すと画面がスクロールします。

5

機能ボタン



[並び換え]・[フィルタ]

ファイル一覧の並び方を変えたり、検索表示をおこないます。

※詳しくは、[ビデオの再生]・[写真の再生]の項目をご覧ください。

[すべての選択]

(すべてのファイルが選択されている場合にのみ表示します。)

現在、選択されているフォルダ(もしくはデバイス)のすべてのファイルを選択します。

[選択の解除]

ファイル一覧の全てのファイル選択を解除します。

[写真の追加]

写真(静止画)ファイル選択画面に切り替えます。

[コピー/編集]

ファイルのチェックボックスにチェックを入れるとボタンが有効になり、選択したファイルの確認画面に移ります。

[設定]

コピー先のフォルダを設定変更します。

※詳しくは、「設定(コピー／編集)」の項目をご覧ください。

6

ファイル一覧表示



フォルダ／ファイルを選択する画面です。ファイル項目部分をクリックすると、再生を行います。

※詳しくは、[ビデオの再生]・[写真の再生]の項目をご覧ください。

7

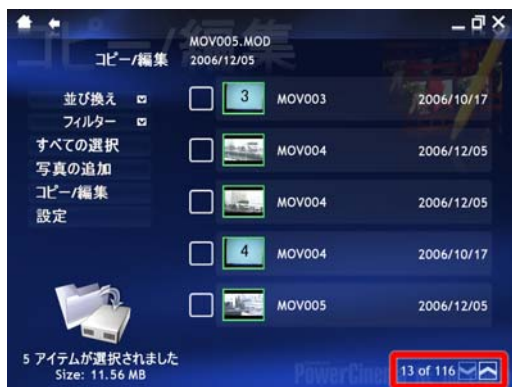
チェックボックス



ファイルを選択する場合は、このチェックボックスをクリックして、チェックマークを入れます。

8

スクロールボタン



コンテンツ参照エリアに表示されていないフォルダ／ファイルをスクロールして探すときに使います。

9

機能ボタン



[コピーの開始]

選択したファイルのコピーを開始します。

[アドバンス編集]

選択したファイルを PowerDirector Express が受け取り、編集を行います。

[ディスク作成]

選択したファイルを PowerProducer 3 が受け取り、ディスク作成を行います。

[設定]

コピー先のフォルダを設定します。

※詳しくは、「設定(コピー／編集)」の項目をご覧ください。

バックアップ

1

メインメニュー



Everio の動画・静止画を簡単にバックアップします。

メインメニューから「バックアップ」を選択します。

2

バックアップするデバイスの選択画面

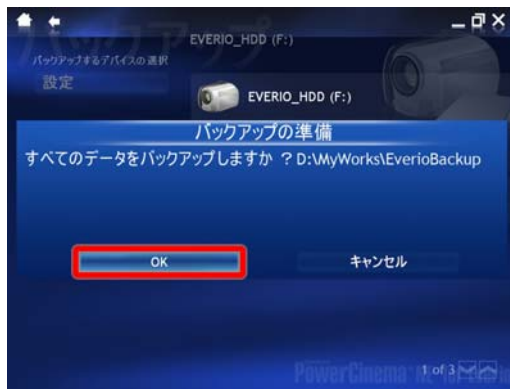


バックアップ可能なデバイスが表示されます。

「バックアップ対象のデバイス」をクリックします。

3

バックアップの準備



「バックアップ準備」の確認ダイアログが表示され、保存先フォルダが表示されます

「OK」:

バックアップを開始します

「キャンセル」:

メインメニューに戻ります。

4

Everio からパソコンへファイルをバックアップ



バックアップが開始されるとプログレスバーと%表示で進度の表示がされます。

「キャンセル」:

メインメニューに戻ります。

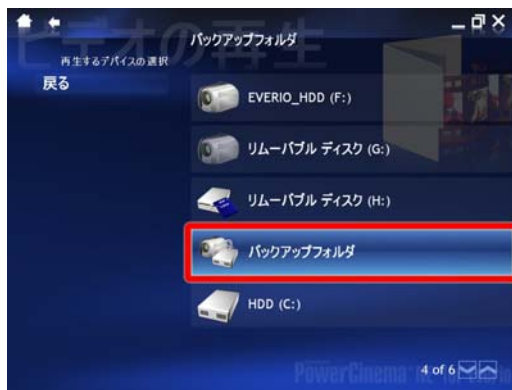
バックアップフォルダについて

「バックアップフォルダ」は、PowerCinema の「バックアップ」機能において、バックアップ先となるフォルダ対象のことを指します。

以下、この「バックアップフォルダ」についての説明です。

1

再生デバイスの選択画面(例)



バックアップフォルダをクリックすると、バックアップフォルダ内の動画ファイル(静止画ファイル)がすべて表示されます。通常は、このバックアップフォルダ内に含まれるすべてのフォルダ、ファイルが一括して扱われるので、特に意識する必要はありません。

2

バックアップフォルダの中の実際のフォルダ(例)



バックアップフォルダ内には、名前が英数字 12 文字のフォルダが作成されます。

画面の上部に、フォルダ情報が表示されます。フォルダ作成年月日を参考に対象ファイルを見つけてください。

フォルダは、Everio 内蔵のハードディスク、もしくは、SD メモリーカードをフォーマットした以降の記録データを同じフォルダにバックアップします。動画と静止画は別のフォルダにバックアップされます。

注: 必ず、Everio 自身で Everio 内蔵のハードディスク、SD メモリーカードをフォーマットしてください。

左の画面は、バックアップフォルダの中の実際のフォルダの例です。この例は、実際にバックアップフォルダ(フォルダ名: EverioBackup)が存在しているドライブの中のフォルダをたどって表示したものです。

参考資料

よくある質問とその答え

質問	回答
フォルダ名やファイル名の文字が省略されてすべてが見えない。	ボタンなどの文字が全部表示されていない場合は、マウ斯卡ーソルをその位置に移動すると、スクロールしてボタンや文字を表示します。画面の上部に同じ内容が表示される場合もあります。
「かんたんガイド」を見ることができません。	「かんたんガイド」を見る場合には、インターネット接続環境が必要です。毎回接続しなくても見ることができるために PDF ファイルも用意しています。インターネット接続速度が遅い場合などには、このPDFファイルをあらかじめダウンロードしておいてください。この PDF ファイルは「かんたんガイド」と同じ場所にあります。
作業中に「かんたんガイド」を見るには。	インターネットが常時接続できない環境でお使いの場合は、あらかじめインターネットを接続できる環境で「かんたんガイド」をいったんクリックし、「かんたんガイド」が表示されたら、そこにある PDF ファイルをダウンロードしてご利用下さい。 インターネットに常時接続できる環境であれば、メインメニュー画面から「かんたんガイド」を開いたまま、ご利用下さい。
Everio 本体のボタンを押す、または USB メニューを選択した後、PowerCinema NE for Everio が起動する前に、「Windows が実行する動作を選んでください」というダイアログが出ます。	何も操作をしないでください。 PowerCinema が起動中の場合は、終了してから操作してください。

ビデオの再生

質問	回答
「ビデオの再生」では、つぎのファイルの再生時に黒い画面が数秒間表示されるのですが。	1つのファイルをアクセスすることに少し時間がかかります。
PowerDirector 5 NE Express で書き出した動画ファイルが見れません。	PowerCinema は、Everio で撮影したファイル(拡張子.TOD)以外は再生することができません。PowerDirector で出力したファイルは PowerDirector で読み込んで、再生してください。(拡張子.TPD を除く)
スナップショットは、どこフォルダに保存されますか？	スナップショット(JPEG 形式)は、”マイドキュメント”の”マイピクチャー”の”ビデオスナップショット”へ保存されます。 マイコンピュータ／エクスプローラ等でコピーまたは移動してください。
フィルターでイベント項目が出てきません。	フィルターでイベントを表示するには、Everio 本体でイベントを登録して録画しておく必要があります。詳しくは Everio 本体の取説のイベントの設定をご覧ください。

コピー・編集

質問	回答
コピー先は、PC の HDD 以外でも指定できますか。	コピーファイルの保存先は PC の HDD 以外の記録メディアには設定できません
コピー先のフォルダが見つかりません。	バックアップファイルの保存に外付けのハードディスクをお使いの場合は、「バックアップ」を実行する時に前回と同じドライブレター(E:、F:など)になっていることをご確認ください。 [ドライブレターとは] 記憶装置(ドライブ)を識別するために割り当てられるアルファベット。A から Z までのアルファベット 1 文字が与えられています。
コピー先に設定するためのフォルダが作成できません。	新しいフォルダを保存先にする場合は、あらかじめ Windows 自身の操作でフォルダを作成しておく必要があります。
HDD 以外のメディアにコピーする方法はありますか。	Windows 自身の操作(エクスプローラ等)でコピーしてください。

バックアップ

質問	回答
バックアップの保存先はどこですか	バックアップファイルの保存先は、インストール時に空き容量が最も多いドライブに設定されます。インストール後の設定の変更も可能です。「おこのみインストール」を選んだ場合には、インストール時にも設定できます。
バックアップ先のフォルダが見つかりません。	バックアップファイルの保存に外付けのハードディスクをお使いの場合は、接続することによりハードディスクのドライブレター（E:、F:など）が変更される場合があります。その場合には、このような現象が起こることがあります。「バックアップ」を実行する時に前回と同じドライブレター（E:、F:など）になっていることをご確認ください。
バックアップ先は、PC の HDD 以外でも指定できますか？	バックアップファイルの保存先は「設定」で変更できますが、保存先は HDD 以外の記録メディアには設定できません。
外付けハードディスクへの保存先設定について	外付けハードディスクに保存先（バックアップ先）を指定した後、外付けハードディスクを使わないで、PowerCinema を起動した場合に設定がうまくいかない場合があります。このような場合には、この外付けハードディスクを接続した状態で再度 PowerCinema を起動していただくようお願いいたします。
バックアップの保存先のフォルダが作成できません。	新しいフォルダを保存先にする場合は、PC 上の操作であらかじめフォルダを作っておく必要があります。 PowerCinema 上からは、作成されているフォルダの指定のみをおこないます。

トラブルシューティング

質問	回答
ボタンを押しても反応がないことがある	書き込みドライブからの応答を待っている場合等には、しばらく反応がない場合もあります。しばらくお待ちいただくようお願いいたします。なお、ボタンは、確実に1回だけクリックしていただくようお願いいたします。処理が進んでいないように見えても処理中の場合があります。最大10分程度お待ちいただくようお願いいたします。
プログレスバーの進み方が遅い、進まない	プログレスバーは、ファイルのサイズに比例して動作するので、大きなサイズのものが混在している場合には、一様に動作しない場合があります。また、複数の処理の進み具合を示している場合には、その処理の段階が進むのに時間がかかる場合があります。いずれにいたしましても、しばらくそのままお待ちいただくをお願いいたします。
ハードディスクの容量が足りない	バックアップやコピーは、コピーする対象のファイルと同じサイズの空き容量が目的のフォルダの存在するハードディスク側に必要です。
コピー動作が遅い	コピー先に同じ名前のファイルが多数存在すると、ファイル名を変更する動作のために処理時間がかかります。この機能をお使いの際は、コピー先を新しいフォルダに設定しておくことをお勧めします。
ビデオを再生すると、時々映像が止まったりカクカクしたりします	[設定]の「視覚効果」を“3D 表示(低)”または、“2D表示”に変更してください。設定方法は、リファレンスの「ディスプレイの設定」をご覧ください。PCの処理能力が足りない場合もこのような状態になる場合もあります。
自動起動ができない	自動起動の設定が「しない」になっている場合は、「する」に設定してください。また、「する」になっていても動作しない場合には、もう一度、設定を選んで、設定操作をおこなってみてください。

知っておきたいこと

質問	回答
1つの動画ファイルの最大サイズと記録時間	Everio 本体での記録ファイルの最大サイズは、4GB です。このファイルに記録できる時間は約 18 分です。
コピー動作についてとリネーム	同じフォルダ内には、同一のファイル名のものが複数存在できません。そのため 2 つ目以降のものはファイル名を変更して保存されます。2 つ目のファイル以降は、オリジナルのファイル名の末尾に「_1」、「_2」、..の文字が付加されます。
スリープ設定について	PowerCinema を操作しないで一定時間経過すると、PC の設定によってはスリープモードに入る場合があります。このとき、外部機器への電源供給をしない設定になっていると、復帰後の動作に支障がある場合がありますので、そのような設定をおこなわないで下さい。
VRAM と3D表示について	VRAM のサイズが 128MB 以上ある場合には、グラフィックインタフェースが 3D 表示可能になります。必ずしも、すべての PC で快適に操作できない場合もありますので、その場合には、3D 表示(低)を選択していただくようお願いいたします。
PC の能力、グラフィック性能について	ご使用の PC 環境によっては、再生画像が滑らかに再生できない場合があります。

用語集

用語	解説
Dolby Digital	Dolby 社が開発した効率のよい圧縮音声フォーマットです。
SPDIF	CD や MD といったデジタルオーディオ機器を接続するためのインターフェース規格です。データの受け渡しをデジタル信号のまま取り扱うので、元の音声を劣化させずに取り扱うことができます。
Dolby Surround	Dolby 社が開発したサラウンド音声方式です。
FAT32	ディスクフォーマットの1つです。1個につき最大 4GB のサイズのファイルを格納できます。
ダイアログ	メッセージを表示するウインドウのこと。このウインドウ内の操作をおこなって、ウインドウを閉じないとつぎの操作ができない。
プログレスバー	処理の進み具合を示す棒グラフのようなもの。
GB、MB	ギガバイト、メガバイトの略称。メガバイトは、約 100 万バイトのこと。ギガバイトは約 10 億バイトのこと。
VRAM	グラフィック用の RAM のこと。本体メモリの一部が割り当てられる場合もある。
ドライブレター	記憶装置(ドライブ)を識別するために割り当てられるアルファベット。A から Z までのアルファベット 1 文字が与えられています。
クリック	マウスで画面上のボタン、項目を押す操作のこと。説明中での「クリックする」は1回だけマウスの左ボタンを押す操作です。
サムネール	画像を実際より小さな表示にしたもの。
デバイス	PC に接続される装置のこと。ここでは、記憶装置(ハードディスク、メモリーカード)のこと。
PC	パソコン、コンピュータ
スクリーンサイズボタン	PC 画面右上の2番目の四角のかたちのボタン。表示をフルスクリーン・ウインドウの切り替えをおこなう。
フルスクリーン表示	画面一杯に表示すること。PowerCinema の起動時はこの表示方法。
スパイラルアイコン	画面中央に現れる渦巻きのかたちのアイコン。これが表示されているときはしばらくお待ちください。数分変化しない場合もあります。